

## 研究者として大切なこと

7月17日(火), SSHに伴う特設科目であるGS(グローバルサイエンス)の時間に, 京セラ総合研究所所長の仲川彰一氏をお招きして, 講演会が行われました。

国分が誇る世界的企業である京セラの紹介の後, 研究者として大切にしていることについて語っていただきました。

- ① 研究者である前に, 人間としてしっかりすること。
- ② 企業として赤字の研究はできない。必ず利益に結びつけることが大切。
- ③ 世界の研究者が競争相手なので, 負けないようにしっかり勉強をすること。物を考える習慣をつけ, その本質は何かを考えること。
- ④ スケジュールをきちんと守ること。



次に**国分高校生へのメッセージ**をいただきました。

- ① 覚えるだけの勉強ではなくて, 「なぜ, そうなるのか?」ということを考える習慣をつけること。若いうちに身につけると財産になる。
- ② 書く習慣を大事にする。疑問に思ったこと, 考えたことをメモする。
- ③ 自分が考えていることを人に言葉で説明することができるようにすること。
- ④ 仮説を立てる→検証する, ということは面倒くさいが何度もあきらめずに行うこと。
- ⑤ グローバルな視点を持つ。世界というより, 地球規模の視点で考えること。
- ⑥ 国分は地方にあるけれども, 環境がよく研究には適している。ただし, 都会は自然と刺激が入ってくるが, 地方は刺激が少ないので, 自分から刺激(探究心)を求める心構えが大切。

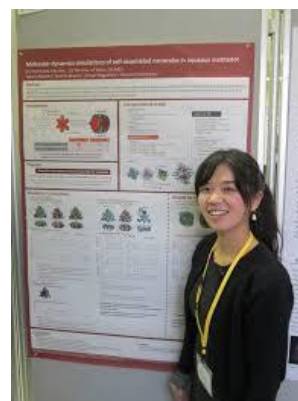


## 女性研究者の活躍

現在, 世界では多くの女性研究者が活躍しています。京セラ総合研究所の若手の研究者, 益子貴子氏に, お話をさせていただきました。

益子さんは, 「長寿命型人工股関節(アクアラ)」の開発に携わっています。これまでの人工股関節は十年くらいで使えなくなりましたが, それを研究して, 長く使用できるものを開発していらっしゃいます。

病気で苦しんでいる人を助ける研究はやりがいがあると思いました。



(講演を聴いて)

今回は, 世界の第一線で活躍する研究者のお話を直に聞くことができましたが, 大変わかりやすく, そして興味深いお話でした。研究者としての心構えは勉強に通じるものがあり, 参考になりました。また, 益子さんのように若い優秀な研究者が活躍して社会に貢献されていることが, すばらしいと感じました。

